

3.水質検査結果

表3に尻別川における人の健康の保護に関する環境基準項目の水質検査結果を示す。

表3 尻別川の水質検査結果

〔採水日：令和元年5月15日（天候：曇）〕

水質検査項目名		箇所名・検査時期	尻別川 比羅夫橋 水質検査結果	環境基準値	環境基準値との 適合状況
1	現地測定項目	採水時刻	10:00	—	—
2		気温 (°C)	18.5	—	—
3		水温 (°C)	7.5	—	—
4		色相・外観	無色・透明	—	—
5		臭気	無臭	—	—
6		透視度 (度)	50以上	—	—
1	人の健康の保護に関する環境基準項目	カドミウム (mg/L)	0.0003 未満	0.003 以下	適合
2		全シアン (mg/L)	不検出(0.1 未満)	検出されないこと	適合
3		鉛 (mg/L)	0.001 未満	0.01 以下	適合
4		六価クロム (mg/L)	0.005 未満	0.05 以下	適合
5		砒素 (mg/L)	0.001 未満	0.01 以下	適合
6		総水銀 (mg/L)	0.00005 未満	0.0005 以下	適合
7		アルキル水銀 (mg/L)	不検出(0.0005 未満)	検出されないこと	適合
8		PCB (mg/L)	不検出(0.0005 未満)	検出されないこと	適合
9		ジクロロメタン (mg/L)	0.001 未満	0.02 以下	適合
10		四塩化炭素 (mg/L)	0.0002 未満	0.002 以下	適合
11		1,2-ジクロロエタン (mg/L)	0.0002 未満	0.004 以下	適合
12		1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	0.001 未満	0.1 以下	適合
13		シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	0.001 未満	0.04 以下	適合
14		1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	0.001 未満	1 以下	適合
15		1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	0.0002 未満	0.006 以下	適合
16		トリクロロエチレン (mg/L)	0.001 未満	0.01 以下	適合
17		テトラクロロエチレン (mg/L)	0.001 未満	0.01 以下	適合
18		1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	0.0002 未満	0.002 以下	適合
19		チウラム (mg/L)	0.0006 未満	0.006 以下	適合
20		シマジン (mg/L)	0.0003 未満	0.003 以下	適合
21		チオベンカルブ (mg/L)	0.002 未満	0.02 以下	適合
22		ベンゼン (mg/L)	0.001 未満	0.01 以下	適合
23		セレン (mg/L)	0.001 未満	0.01 以下	適合
24		硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	0.31	10 以下	適合
25		ふっ素 (mg/L)	0.05 未満	0.8 以下	適合
26		ほう素 (mg/L)	0.02 未満	1 以下	適合
27		1,4-ジオキサン (mg/L)	0.005 未満	0.05 以下	適合

4.水質検査結果について

検査結果から、比羅夫橋における尻別川水質は、「水質汚濁に係る環境基準について」（昭和46年環境庁告示第59号）で示される「人の健康の保護に関する環境基準」に適合する水質となっている。

今後についても良好な河川水質を維持できるよう、継続的に水質をモニタリングしていくことが必要と思われる。

3.水質検査結果

令和元年5月15日に実施した水質検査結果を表3及び別図2に示す。

尻別川の水質検査地点は、「昭和46年環境省告示第59号 水質汚濁に係る環境基準」による河川環境の水質A類型基準に該当する流域である。

表3 尻別川の水質検査結果

	比羅夫橋 (尻別川下流)	八号川・尻別川 合流点	中野橋 (尻別川上流)	水質の概況
採水日	令和元年5月15日			
天候	曇	曇	曇	
採水時刻	10:00	10:50	11:30	水温は7.4～8.8℃で透視度は50度以上であった。 水質の外観や臭気に異常は認められなかった。
気温(℃)	18.5	19.0	19.0	
水温(℃)	7.5	8.8	7.4	
色相・外観	無色・透明	無色・透明	無色・透明	
臭気	無臭	無臭	無臭	
透視度(度)	50以上	50以上	50以上	
pH	7.2	7.2	7.2	
BOD(mg/L)	0.5未満	0.5未満	0.5未満	BODは3箇所ともに0.5mg/L未満で、河川環境のA類型基準(2mg/L以下)に適合している。
SS(mg/L)	5.6	4.5	3.6	SSは3.6～5.6mg/Lの範囲で、河川環境のA類型基準(25mg/L以下)に適合している。
DO(mg/L)	12.6	12.2	12.3	DOは12.2～12.6mg/Lの範囲で河川環境のA類型基準(7.5mg/L以上)に適合している。
大腸菌群数(MPN/100mL)	33	17	330	大腸菌群数は、17～330MPN/100mLの範囲で河川環境のA類型基準(1000MPN/100mL以下)に適合している。

4.水質検査結果について

河川の水質は、3地点ともにpH、BOD、SS、DOがAA類型に該当する水質、大腸菌群数がA類型に該当する水質であり本検査流域に指定されている河川環境のA類型基準に適合する結果であった。

また、水温は、7.4~8.8℃と低かったことから融雪水の影響を受けているものと思われる。

今後についても良好な河川水質を維持できるよう、継続的な水質モニタリングが必要と思われる。

なお、参考資料として生活環境の保全に関する環境基準及び河川環境の類型指定状況を別紙で示す。